

有限責任中間法人国立医療学会議事録

国立医療学会理事会

平成20年11月21日(金)午前8時00分より、東京都千代田区丸の内3丁目5番1号の東京国際フォーラム5階502会議室において、理事会を開催した。

理事総数 17名 出席理事14名 委任状出席3名
合わせて17名の出席

上記のとおり定足数に足る理事の出席があったので、定款施行細則8条に従って理事長 矢崎義雄が議長となり開会を宣するとともに、直ちに議案の審議に入った。

第1号議案 塩田賞の決定について(資料1)

議長は、定款施行細則第19条2項により、塩田賞選考委員会にて選考された論文3編を第41回塩田賞授賞論文とする旨、賛否を問うたところ、満場一致をもって承認可決した。

第2号議案 評議員の推薦について(資料2)

議長は定款第14条に基づき、正会員の中から新たな評議員を推薦したい旨、諮ったところ、原案候補者名簿のとおり満場一致で承認可決した。

国立医療学会臨時総会

平成20年11月21日(金)午前8時10分より、東京都千代田区丸の内3丁目5番1号の東京国際フォーラム5階502会議室において、臨時総会を開催した。

社員総数 45名 出席社員35名 委任状出席10名
合わせて45名の出席

定刻に定款施行細則8条に従って理事長 矢崎義雄が議長席に着き、開会を宣し、上記のとおり定足数に足る社員の出席があったので、本臨時総会は適法に成立した旨を告げた。

第1号議案 評議員の選任について(資料2)

理事会にて推薦のあった評議員候補について、原案のとおり満場一致で選任した。被選任者は、即時就任を承諾した。

第2号議案 年会費の改定について(資料3)

国立医療機関で働く職員の皆様がより多く当会に入会して頂けるよう、年会費について、医師以外のその他職種を、現在の会費の半額であるおよそ4,000円とし、翌21年4月より施行を実施する旨、諮ったところ、原案どおり、満場一致で承認可決した。

第3号議案 第64回国立病院総合医学会について(資料4)

第64回学会開催地については、九州ブロック管内より、長崎医療センターを学会長施設、福岡東医療センターを副学会長施設とする旨、諮ったところ、原案どおり、満場一致で承認可決した。

国立医療学会評議員会

平成20年11月21日(金)午前8時15分より、東京都千代田区丸の内3丁目5番1号の東京国際フォーラム5階502会議室において、評議員会を開催した。

評議員総数 45名 出席評議員35名 委任状出席10名
合わせて45名の出席

上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので、定款施行細則8条に従って理事長 矢崎義雄

が議長となり開会を宣するとともに、直ちに議案の審議に入った。

第1号議案 理事の選任について(資料2)

新たな理事の選任に関して、定款第18条に基づき、議長より意見を問うたところ、満場一致で東京医療センター山西文子副院長が選任された。被選任者は、即時就任を承諾した。

第41回塩田賞受賞論文

受賞論文	所属施設名	受賞者氏名
潰瘍性大腸炎に対する1.5L 血液処理 白血球除去療法 (1.5L LCAP 療法) 「医療」61巻 第9号	国立病院機構名古屋医療センター 国立病院機構名古屋医療センター 国立病院機構名古屋医療センター 国立病院機構名古屋医療センター 国立病院機構名古屋医療センター 国立病院機構名古屋医療センター 国立病院機構名古屋医療センター 元国立病院機構名古屋医療センター 名古屋大学大学院	島田 昌明 岩瀬 弘明 都築 智之 小林 慶子 日比野祐介 渡邊 久倫 龍華 庸光 桶屋 将之 後藤 秀実
電子カルテを用いた出生コホート研究の試み ー妊娠中体重増加量と新生児アウトカムとの関係 「医療」61巻 第8号	国立成育医療センター 元 国立成育医療センター	相澤 志優 高山ジョニー郎
筋ジストロフィーの口腔・顎顔面領域の形態につ いて／筋ジストロフィーの口腔・顎顔面領域の機 能について 「医療」61巻 第10号	国立病院機構西多賀病院	佐々木俊明

理事、評議員について

1, 評議員の推薦について

山西 文子 (東京医療センター 副院長)
北川 多恵子 (九州医療センター 看護部長)
高橋 滝子 (仙台医療センター 看護部長)
徳永 尚美 (大阪医療センター 特命副院
長・看護部長)

野宮 雅子 (東京医療センター 看護部長)
三浦 麗子 (岡山医療センター 看護部長)
南 美知子 (名古屋医療センター 特命副院
長・看護部長)

2, 理事の新任について

山西 文子 (東京医療センター 副院長)

資料 3

国立医療学会年会費改定について

○経緯

平成20年度国立医療学会定期総会（H20. 5. 27開催）、国立病院総合医学会推進委員会（H20. 6. 30）の討議の中で、『現在、7,800円である年会費について、医師とその他の職種との差額を設け、入会しやすくすることで看護師など、より多くの職種からの会員の獲得を目指す。』

『学会誌「医療」についても、論文の質を保ちつつ、より多くの職種の読者層を意識した学会誌とする』との方向性が示され、年会費の改定について、本日行なわれた臨時総会にて議決された。

○改定後の年会費

正会員及び賛助会員の会費は、次のとおりとする。

医 師…… 年額7,800円

その他の職種…… 年額4,000円

○改定の時期

→ 平成21年4月1日からの施行とする。

○在籍中の会員の本年度の会費について

→ 現状のままとする。

○今後の方針

→ 学会誌「医療」、当会のHPにて広告活動を行なっていく。

第64回国立病院総合医学会について

平成22年度 第64回 国立病院総合医学会

学会長施設 : 長崎医療センター
副学会長施設 : 福岡東医療センター

参考

平成21年度 第63回 国立病院総合医学会

学会長施設 : 仙台医療センター
副学会長施設 : 宮城病院

平成20年度 第62回 国立病院総合医学会

学会長施設 : 東京医療センター
副学会長施設 : 東京病院

平成19年度 第61回 国立病院総合医学会

学会長施設 : 名古屋医療センター
副学会長施設 : 三重中央医療センター

平成18年度 第60回 国立病院総合医学会

学会長施設 : 宇多野病院
副学会長施設 : 京都医療センター